

平成29年度喜寿を祝う会 106人が集い盛大に開催

9月23日に「平成29年度山田町喜寿を祝う会」が町中央公民館で行われました。ことし、77才の喜寿を迎えた町内在住者は252人で、うち106人が出席。各地区ごとに集まった懐かしい面々と、思い出話に花を咲かせました。テーブルの上には、山田町食生活推進員連絡協議会（鈴木協きょうご子会長）の皆さんによる、手作りのご馳走が並び、町内保育所の園児や大沢婦人会、大沢東老人クラブによるアトラクションが会を彩りました。最後は、これからの健康を祈念して、万歳三唱で会を締めくくりました。



織笠の川村さん100歳に 長寿祝い金を手渡される

織笠の川村イソさん（大正6年生まれ）が、10月5日に満100歳の誕生日を迎えました。同日、佐藤町長が川村さんの自宅を訪問。「本日はおめでとうございます。これからもお元気で」と、長寿祝い金を手渡しました。

川村さんは、山田地区で6人兄弟の長女として生まれました。好きなことは踊ること、地区の盆踊りには積極的に参加。ほかの参加者に踊りを教えることもあったそうです。そうして体を動かすことが、長寿の秘訣なのかもしれません。

きずなまつりで復興を祝う

船越・田の浜・大浦地区

10月8日に、船越小学校で船越・田の浜地区きずなまつり、大浦漁港で大浦地区きずなまつりが開催されました。両会場では、テープカットやえびすまき、各種ステージイベントが行われ、宅地造成が完了した地区の復興を祝いました。船越会場の山崎君子さん（76）は「子どもたちの踊りなどを見ることができ楽しかった」と笑みを浮かべ、大浦会場の山崎とよ子さん（63）は「地区の人たちがこうして集まるのは良いこと。これから明るい地区になってほしい」と期待を込めていました。





町のわだい

今月の題字 大久保 ももか 杏香さん（山田北小2年）

山田中生徒職場体験学習 体験通し仕事への理解深める

10月3日、山田中学校（小橋敏校長）の2年生105人が、職場体験学習を行いました。この活動は、中学生に地域の仕事への関心を高めてもらうとともに、汗を流して働く大切さを知ってもらうことを目的に、毎年行われています。山田消防署には生徒8人が訪問。消防署員から救命器具の説明を受けたり、放水訓練を行ったりと、意欲的に取りくんでいました。体験した木村元紀さんは「救命器具は使い方が難しかったけれど、すごく良い体験だった」と消防士の仕事に理解を深めていました。

※この記事は、町総務課へ職場体験に訪れた武藤嘉寿真君と鈴木誠崇君が取材し、撮影、作成したものです。



各団体が新鮮な農産物を出品 農業まつりに約2千人来場

10月15日、豊間根中学校グラウンドで山田農業まつりが開催されました。ことしは14団体が参加し、約2千人が来場。会場では、シイタケ焼きなどのお振る舞いやお楽しみ抽選会などが行われ、リンゴの詰め放題には、長蛇の列ができるほど。アトラクションとして会場にかけつけたのは、「山田吹奏楽団」と「山田なかよしだんすくらぶ」。音と踊りのパフォーマンスでまつりを大いに盛り上げました。台風の影響が心配された農業まつりですが、愛情込めて育てられた農産物などが並べられ、まつりは大盛況に終わりました。



命を守る道の整備へ 長崎・柳沢間のトンネル貫通

9月30日、桜山トンネルの貫通式が行われました。式には工事関係者約150人が出席。山田南小、山田北小の児童が虎舞や鼓笛隊演奏を披露し、貫通を祝いました。全長336mのこのトンネルは、織笠と柳沢を結ぶ町道細浦柳沢線（総延長3330m）の一部区間となるもので、ことし2月に着工されました。今回貫通した桜山トンネルは、国道45号が被災した場合の緊急輸送や避難ルートとなる重要な道路の一部。町民の命を守る道として、早期整備が期待される町道細浦柳沢線は、平成30年度中に全線開通する予定です。

